

令和5年度
(2023.6月～2024.5月)

天元台高原 索道安全報告書

【索道内容】

- ・天元台ロープウェイ (複線交走式普通索道) * 通年運行
- ・しらかばロマンスリフト (単線固定循環式特殊索道) * 通年運行
- ・しゃくなげロマンスリフト (単線固定循環式特殊索道) * 通年運行
- ・つがもりロマンスリフト (単線固定循環式特殊索道) * 通年運行



株式会社 天 元 台

安 全 報 告 書

1. お客様各位

はじめに、米国の金融引き締めによる円安の影響で海外から輸入に頼るエネルギーや食材価格の高騰で諸物価の値上がりが続いております。

また、新型コロナウイルス感染症の感染症法上位置付けが「2類相当」から「5類」に移行され原状回復を予測しておりましたが、生活様式や嗜好の変化が進み特に夏山営業の来場者が戻らず大変厳しい状況となりました。

そのような中、弊社と致しましてもウィズコロナ、冬期の暖冬小雪を見据えゲレンデ整備や誘客宣伝活動を積極的に行い売上向上・利益計上に努めました。

夏山営業開始直後の6月は、新型コロナウイルス感染症の5類移行で遠方からのにっぽん百名山トレッキングツアーなどの団体が回復しました。

しかし、梅雨時の天候不順などで7月は来場者が前年の85%、8月はアルプ宿泊の高校・大学合宿などで盛り返したものの、9月は秋雨で来場者が対前年78%、グリーン期の山場となる10月は紅葉の遅れがひびき対前年73%、10月までで来場者は前年を2,000名ほど下回りました。

冬山の営業は11月22日に冬山安全祈願祭とスキー場のプレオープンが同時にできるという幸運をいただきスタートしました。

夏山営業の低迷を挽回するべくゲレンデの下刈など整備を行い、オープン当初から、しらかば・しゃくなげ二つのゲレンデが滑走でき12月9日には最上部のつがもりゲレンデまで全面滑走可能となり、高い標高にある天然雪100%のスキー場をアピールすることができました。

その後も小雪傾向は続き、新規のお客様も含め各地からご利用者も増加し増員増収となりました。また、プロスノーボーダー「布施 忠」氏を起用し「アップデート天元台」の企画も功を奏し、多くの布施ファンが来場されており、粉雪の天元台の評価もさらに高くなりました。好調なスノーシーズンも3月には各週末に強風に見舞われ、全索道運休や部分運休が10日間と悪天候の影響で来場者が対前年の79%となり、4月は高温の日々が続き5月6日までのスキー場営業予定が融雪の早まりで5月1日までとなってしまい、ゴールデンウィークは観光行楽や春山トレッキングのご利用に切替え令和5年度の営業を終了致しました。

株式会社 天 元 台

代表取締役社長 山 田 長 一

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全第一です。事故は絶対起こさないという意識をもって、安全管理規定に従い安全運行に努めるとともに「安全基本方針」を次のように掲げ、索道施設の安全運行を行います、
そのため、社長以下従業員に周知・徹底し、輸送の安全確保に全力を尽くします。

- ① 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規定（本規定を含む。以下「法令等」という）をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 万が一、事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。

(2) 安全目標

お客様への安全・安心・満足のできるサービスを第一義に安全運行に資するため、教育・研修等を積極的に実施、日々研鑽し安全輸送の徹底を図ります。

3. シーズン中の事故・トラブルについて

(1) 索道運転事故

- ・ありませんでした

(2) インシデント（事故の兆候）

- ・ありませんでした

(3) 行政指導等

- ・ありませんでした

(4) 災害（地震や暴風・豪雪、その他）

強風等による運休日

- ・夏期営業期間
 - ・索道全施設全休日 5日間、半休日 3日間
- ・冬期営業期間
 - ・索道全施設全休日 17日間、半休日 11日間

4. 輸送の安全確保のための取り組み

- (1) 会社が運行するロープウェイ・リフトの索道事業は鉄道事業法に定める法律で細かく規定されており、施設設備の規格、点検検査結果記録、運行の状況記録などを報告する必要があるため、それらの内容について従事者が的確に対応できるよう努めました。
- (2) 安全運行管理の徹底を図るため、従事者全員が安全管理規定に基づく技量を身に着けるため、索道安全講習会、救助訓練、予備原動操作講習会、その他習熟訓練などを開催、レベルの共有を図りました。
- (3) 6月、11月に実施する索道救助訓練については、消防・警察の指導協力を仰ぎながら実際に非常救助用具を使用し安全迅速な救助の仕方を実践し、従業員全員が万が一の事態に備えております。
- (4) 索道事業従事者の技術向上のため、メーカーや同業組合が開催する研修会・セミナーに積極的に参加させ、その技量を社内で存分に発揮できるよう取り組みを行っております。
- (5) 強風など異常天候時のロープウェイ区間運休対応として、夏期はワゴン車、冬期は客席付きの圧雪車での対応を迅速に行い、お客様の足の確保に努め便宜を図りました。
- (6) 索道には多くの機器類・設備類があり、操作取扱いについてもさまざま異なることから、だれでも対応できるよう取扱説明書等の開示を進め、より安全にできるよう努めました。





〒992-1461 山形県米沢市白布温泉天元台

株式会社 天元台



TEL 0238-55-2236

FAX 0238-55-2127

<http://www.tengendai.jp>

E-mail: info@tengendai.jp